

# 広報ひがしの

No171

令和3年

2021.2.1

人口1667人

(男)844人

(女)823人

世帯数

630世帯

(R3.1.1現在)



優秀賞 ホタル川 萩山清和さん（中津川市）



優秀賞 見守られて 吉村緑さん（中津川市）

## 優 良 賞



暮れる頃 吉村清さん（中津川市）



春の田園 安藤秀美さん（串原）

# 第2回 東野ふるさと写真展誌上ギャラリー



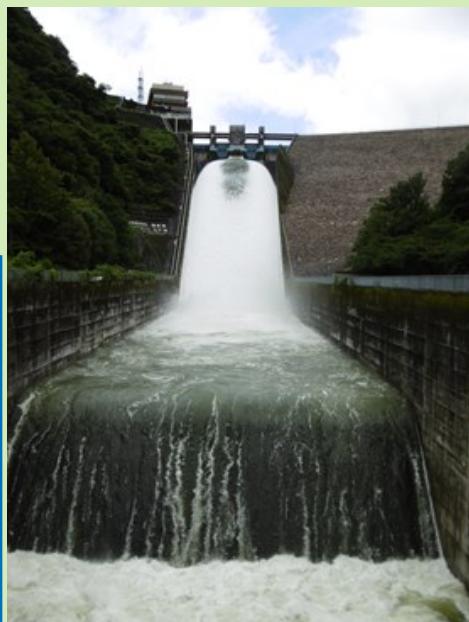
秋日  
青木孝義さん  
(中津川市)



今年も元気です  
河村忠臣さん（大井町）



東野駅満開の桜  
後藤武重さん（東野）



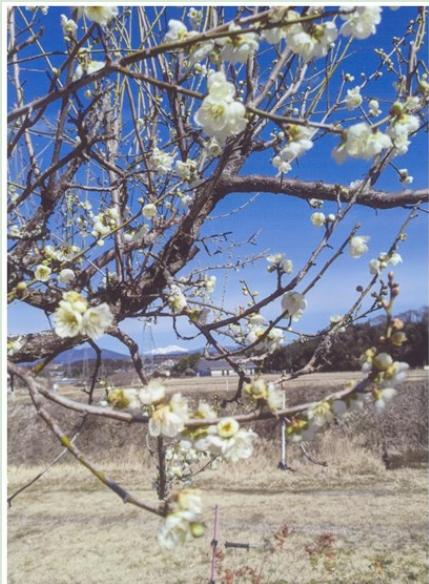
放流  
千藤恵三さん（東野）



秋の田園風景  
丸山年道さん（東野）

佳 作

# 第2回 東野ふるさと写真展誌上ギャラリー



白梅と御嶽山  
渡辺由利子さん（東野）

## 佳 作



春全開  
永野憲男さん（東野）



西山に沈む夕日  
土方博美さん（東野）

散步 丸山文憲さん（東野）



保古の紅葉  
三宅一嘉さん（東野）



- ・入賞作品は『広報ひがしの』等に掲載したり、カレンダー等として活用したりさせていただきます。
- ・入賞作品は返却いたしません。



- ・サイズは、A4サイズとします。フォトフレームを付けて応募される方は、4切も応募可能。画像を加工した作品の応募は不可とします。
  - ※ A4サイズのフォトフレームが必要な方は、コミニセングで用意します。
- ※上記の入賞作品は写真展を開催し、コミニセン来館者に投票していただき、賞を決定いたします。
- ※作品展は10月26日（火）～11月3日（水）を予定しています。

第1回ふるさと写真展の優秀賞と第2回ふるさと写真展の入選作品はコミニセン館内に掲示しています。ゆっくりご鑑賞ください。

- 受付期間 令和3年10月9日（土）まで
- テーマ 東野の魅力

- ・作品は応募者本人が、令和2年11月以降に東野地内で撮影したもので、未発表のものに限ります。
- ・人物を主題に撮影された作品については、本人（被写体）の承諾を得た上で応募してください。
- ・入賞写真の使用権は主催者に属します。

※ネガまたはデジタルデータを提出してください。

※デジタルデータは、CD-R、SDカード等のメディアを使用するか、メールにデータを添付してください。

- 【賞】優秀賞1点・優良賞数点・佳作数点

### 【応募規格】

## 令和3年度の写真展のお知らせ

令和2年度は、東野住民だけでなく他町や他市在住の方からも応募があり、応募総数57点の作品がコミニセンに寄せられました。来年度も東野ふるさと写真展の開催を予定しています。

真展の開催を予定しています。

- ・人物を主題に撮影された作品については、本人（被写体）の承諾を得た上で応募してください。
- ・入賞写真の使用権は主催者に属します。
- ・作品は応募者本人が、令和2年11月以降に東野地内で撮影したもので、未発表のものに限ります。
- ・人物を主題に撮影された作品については、本人（被写体）の承諾を得た上で応募してください。
- ・入賞写真の使用権は主催者に属します。

# 防災東野

昨年は日本各地に深い爪痕を残した豪雨が多発しました。雨がやんだり、水が引いた後も気をつけるべきことは多くあります。官庁や各種団体がツイッターで発信する情報から、知っておいていただきたい防災知識を紹介します。

## ■電気自動車、太陽光パネルに注意を

国土交通省の公式アカウントは【大雨で浸かったクルマ、水が引いても使用しないで】と題して投稿しました。見た目は大丈夫そうでも、感電事故や車両火災の危険があるそうで、「自分でエンジンをかけない」「バッテリーのマイナス側のターミナルを外して」と具体策を示しています。



自動車情報誌「ベストカー」公式アカウントも投稿の中で、目安として「ドア下端」を挙げています。フロアには各種配線が設置されており、水に浸った場合、再始動によって感電や発火のおそれがあるとのこと。「移動の際は最寄りの自動車会社や消防署に連絡を」としています。

「崩れた太陽光パネルがあった場合、絶対に素手で触らないでください。やむをえない場合は、『ゴム手袋など絶縁性の手袋を使用し、パネルは裏返しにする』を徹底してください」とのツイートもあったそうです。

2017年7月の九州北部豪雨の際、経済産業省は「太陽電池発電設備は、浸水・破損をした場合であっても光が当たれば発電が可能です。破損箇所等に触れた場合、感電をするおそれがあります」と危険性を指摘しています。

## ■豪雨時はアンダーパスを避ける

### 浅く見える水溜まりでも、すぐに走行が不能となる

ゲリラ豪雨や台風の大雨によって思わぬ災害になることがあります。そんなとき、高架下などのアンダーパスの底部がプール状態となり、そこでクルマが水没してしまう事故がたびたび起こります。SUVのような車高の高いクルマであっても、それは例外ではありません。JAFの実験では、SUVでも、わずか水深60cmのプールであっけなく走行不能となってしまいました。こうならないためには、「浅く見ても、アンダーパスのプールには絶対に突っ込まない」ことを原則に運転することが大切です。



### 水没してしまったらとにかく迅速に脱出を

もし、判断を誤ってプールに突っ込み、そこでクルマが停まってしまったらどうしたらいいのでしょうか？ 答は一つ。クルマを動かそうとあれこれ努力するのはやめて、とにかく急いで脱出を図ってください。迅速に行動したおかげで、なんとかドアが開いて脱出することができたという例もあります。もし車内で余計な時間を過ごしていたとしたら、その間に水かさが増して水圧でドアが開かなくなり、車内も水で溢れて、命の危機に直面してしまいます。

すぐに脱出を試みても、もともとの水かさが高い場合は、最初から水圧でドアが開かないこともあります。そうしたギリギリの状況に陥った場合は、以下の脱出策に頼るほかありません。

#### ①「ドアが開かないとわかったら、サイドウィンドを下げて窓から脱出する」

近ごろのクルマはある程度水に浸かってもパワーウィンドウが動くようになっていますが、水の深さ、クルマの年式や車種によっては動かないこともあります。

#### ②「パワーウィンドが動かないとわかったら、緊急脱出用ハンマーでサイドウィンドを割って脱出する」

あくまで市販の緊急脱出用ハンマーを車内に常備していることを前提とした脱出策です。ちなみに、フロントウィンドにはシールドが施されているため、ハンマーで打ち付けてもヒビが入るだけで割ることはできません。割るのならサイドウィンドです。「脱出ハンマーを車内に常備を」と国交省も呼びかけています。



#### ③「①と②を試しながら携帯電話で110番して助けを呼ぶ」

自力で脱出できないときは、外からの助けに頼るしかありません。時間勝負なので、①と②をやりながら携帯電話で110番してください。

\*豪雨で道が川のようになっているときやアンダーパスのプールは車で通行しないことが一番です。

東野に伝わる昔話

### 石仏の松（番屋の松）

小野川に石仏の  
松というのがある。

むかしから、松はウスを作るの

に好適な木といわ

れて、近所のもの

が、これを切り倒

してウスを作ろう

とした。

### 茂右衛門が そのとき、千藤



番屋の松 アーカイブス ふるさと東野より(昭和8年頃)



左の絵葉書と同じ場所(平成31年)

「いや、ちょっと待つておくれ。この松はむかしから非常に深いわのある松と

いわれている、わたしが買うによつて、切り倒すことだけは、おいておくれ」と、切ることを止めた。

松は明知線が建設されるときも切られずにすみ、美しい緑の松葉をつけていた。

残念ながらこの松は、昭和34年の伊勢湾台風で倒れてしまい、今は無い。

### 水戸浪士天狗党に対する東野の対策

江戸時代の終わりに大騒動があった。平安時代は天皇が政治を行っていたが、鎌倉時代からは武士が政治を行うようになり、江戸時代も徳川幕府が長い間、政治を行っていた。

「元のように天皇に政治を返しなさい。」と考える尊皇攘夷（そんのうじょうい）派の旗揚をしたのが、水戸藩の浪士だった。彼らを世の人は「学問を鼻にかけた奴だ。」と言い、天狗（てんぐ）党と呼んだ。天狗党は幕府からにらまれ、軍を出して攻められた。

天狗党は都にいる徳川慶喜に会つて自分たちの願いを聞いてもらおうと、八百名の兵が陣羽織に鎧甲を着け、槍や鉄砲を持って中山道を進み、和田峠で松本藩や高島藩と戦い勝った。

天狗党は、飯田から清内路を通つて中津川へ入った。びっくりした幕府から命を受けた岩村藩は殿様が大阪に行き留守だったため「敵を城下内に入れさせない」こととした。

東野の小野川の入り口の石仏坂と番屋附近に陣地を作り、村々の農民474名、猟師110名を集めることにし、壕を掘り、石を積み、大砲を備えた。(ここに石落としの装置を設け、その装置の番をする場所であったことから番屋という小字名が付いた。

天狗党では軍内の規則が非常に厳しく、物を取つたり乱暴を働いたりすると切り捨てをするなど重刑を科していたので、大井の宿では何事もなく一泊し、翌朝、宿代や人足賃をきちんと払つて、中山道を西に向け出発した。

岩村藩や東野の人々はやれやれといったところで、番屋の陣も取り去られた。

### お寺の鐘で雨乞い

むかしから、宗久寺に寺男がいた。掃除をしたり薪を集めたり、檀家の家々へ使いに走つたりしていた。

ある年の夏、強い風が吹き、寺中がゴミだらけになり汚れてしまった。寺男が掃除のために寺の本堂に掛けた半鐘をはずしたところ、急いでいたのか手を滑らせて落としてしまった。半鐘はころころ転げだし、寺男も半鐘を追つた。半鐘はころころ転がり、阿木川まで行き、かやの木淵に落ちた。

そうしたら、天がわかに曇り、大粒の雨が滝のように降り出した。寺男は恐れをなして寺に帰り和尚さんに話をした。和尚さんがしばらく念佛を唱えていると雨は止んだ。寺男は人に見られないよう鐘を淵から上げて持ち帰り、本堂につるしておいた。

それから何年か経ち、日照りが続いた。みんなでお祈りしたがなかなか雨は降ってくれない。そこで、半鐘がかかる木淵に落ちたら雨が降ってきたことを伝え聞いた。相談したあげく、「では鐘をかやの木淵に沈めてみよう。」ということになった。

半鐘は勢いをつけるため綱をつけて引っ張つて転がしながらかやの木淵まで行き、念佛を唱えながら、お酒をかけてお祈りした。

その夜、雨が降つた。こうしたことがあつてから、日照りが続くとお寺の半鐘をかやの木淵に沈め雨乞いをしていたがそれでも雨が降らなかつた年があった。「かやの木淵は浅い。もっと深いおかだ淵にせよ。」「半鐘ではだめだ。つり鐘にせよ。」と人々に言う者が多く、つり鐘を沈める事にした。また、勢いをつけるため、担い手も4人で担がせた。

何年か後には力の強い若者を集め、2人で担がせた。若者には、たっぷり酒を飲ませて勢いをつけさせ、おかげだ淵まで運ばせた。

村中の人々が出て、鐘の後ろからおかげだ淵まで念佛を唱えながら行き、道々、鐘に酒をかけてお祈りをしたそうだ。雨が降つた後、皆が知らないうちに釣鐘は寺に帰つていたそうだ。

この雨乞いは、昭和の初めまで行われていたが、つり鐘を戦争中に供出してしまったため、雨乞いは行わなくなつた。

地域の話題

## ふるさと作品展（書き初め展）

1月15日(金)～22日(金)

1月15日（金）～22日（金） 東野青少年育成会議主催の『東野ふるさと作品展』がコミュニティセンターで開催されました。今年度は新型コロナウイルスのため、青少年育成会議の事業は『東野ふるさと作品展』だけになってしましました。しかし、長い間続いてきた行事だけになんとか実施でき、関係者もホッとしています。

東野を象徴する事柄	や小学校校歌にちんだ言葉
1年	はたる
2年	ふるさと
3年	ひがしの
4年	豊かな心
5年	保古の湖
6年	希望と夢
中学生	自由
自由	ただし四字熟語（新年の決意）

中学生の3点と小学生の86点の作品が展示されました。どの作品も心のこもった力作で、10名の審査員の皆さんも入賞作品を選ぶのにとっても苦労していました。

2月8日(月)に小学校の全校朝会で表彰式を行なう予定です。

き混ぜ続けるため、腕がだるくなってしまった。完成した飴の塊を小さくちぎり、丸めたらお馴染みのげんこつ飴になりました。グレープごとに分かれてお茶を飲みながら、げんこつ飴をおやつに3年生と招待者で談笑しました。完成したげんこつ飴はほんのり

A pair of walking sticks, one with a black handle and a purple shaft, and the other with a brown handle and a purple shaft, are standing upright against a light-colored wall.

げんこつ飴の原料は、大豆からできたきな粉と砂糖です。鍋にきな粉と砂糖、少量の水を入れ、ガスレンジに点火。焦がさないように弱火にし、しやもじでかき回します。



たのが、開墾記念碑です。また、豊受大神神社は大正10年に着工を始め、100町歩開墾された白坂の土地に、伊勢の外宮の食物・穀物をつかさどる神様、豊宇気毘売神（とようけびめのかみ）を迎え、上の平豊受大神神社として祀られています。

先人のご努力や豊作の感謝の気持ちを込め、毎年行われていますが、今年は、祭礼後の餅投げも中止されました。令和3年の祭典は、大勢の人が先人の苦労を偲び、感謝できる祭礼になる事を祈念しています。



### 小中学生の作品を一堂に展示



### 熱心に見学される小学校の先生

どの作品も丁寧に書かれていて素晴らしいと思います。力強さ、繊細さが伝わってきます。どの作品も一生懸命さが文字から伝わってきます。気持ち良く感じます。ありがとうございます。



かしくおいしいものでした。会話を楽しんだ後、子どもたちが、お世話になつた招待者にお礼カードを贈つてくれました。相手に応じた感謝の気持ちが綴られ心温まるメッセージカードでした。『ありがとう』の気持ちが伝わる会でした。

ありがとうございました

中島の遠藤龍美さんから、折り畳み式の棒状杖2本をご寄贈していました。玄関の三和土(たたき)に2本置きましたので、必要な方はご自由に活用してください。

また、宮の前の河村志賀子さんが制作した干支の丑の置物を階段の踊り場に展示させていただきました。



コミセンでは、毎年河村さんの制作した置物を飾らせいただきております。ありがとうございます。



3年生が『ありがとうの会』を開いてくれました

12月16日(水)

白坂・豊受神宮祭典 11月23日(月・祝)  
令和2年の晴天の空の下、白坂・豊受神宮の祭典が執り行われました。今年はコロナのため、来賓をお招きできず、開発振興会の役員のみが参列

寶を掲げて、開発振興会の役員のみが参列する寂しい式典でした。

12/16 リース作り



12月はクリスマス・お正月に飾る「リース作り」をしました。

親子でオリジナルのリース作りに挑戦!! 時間が足りず、完成途中の作品はお家の宿題となりました。今年のクリスマスは手作りを楽しめましたね！

## 乳幼児学級すくすくクラブ

11月は東野こども園「遊戯室」をお借りし、大型スクリーンを使って絵本の読み聞かせをしました。ちちんぷいさんによる「絵本の選び方」「読み聞かせの方法」など、色々な事を教えていただきました。親子共々楽しいひと時となりました。



11/12 絵本の読み聞かせ

## 施設利用のお願い

利用前、利用後に事務所へ一度お声がけください。

利用後は机・イス・座布団など使用したもの元の場所に戻し、掃除機・モップがけ・窓の施錠・ガスの元栓確認・机のぞうきんがけなどの清掃をお願いします

(特に床、畳にゴミが落ちていることがあります)

・施設及び設備を破損または汚損したときは、直ちに届け出、職員の指示に従ってください(届け出がなく、

当方で発見した場合は、以後の使用は許可できなくなります)

※次の利用者のことを考えて、長く使っていただけますよう、ご理解とご協力をお願いいたします

※今後とも皆様が気持ちよくご利用いただけますようお願いいたします

遠慮なき妻の指図や年の暮

霜枯の庭のすみなる竹箒

小春日や座布団縁にしきつめて

初雪や普請終へたる屋根の上

### 文芸

花無山句会 令和2年12月17日

東野コミュニティセンター

### ホールを舞う凧

今年は丑（うし）年。コミセンのホールに丑と揮毫された見事な凧が飾られています。凧を制作したのは南大门の丸山文憲さん、書はみどり館で習字を指導している鈴木里美先生です。堂々とした牛の姿そのままの書が空を舞っている姿が目に浮かびます。来館者が少なく多くの方に見ていただけなかったので紹介しました。

コミセンに正月気分を醸し出していただきました。丸山さん、鈴木先生ありがとうございました。



千藤恵三

千藤猛司

内木伊津子

市川 芳子

# 東野コミュニティセンターあれこれ

## 【駐車場について】

東野コミュニティセンター等で各種イベントや催しを開催する場合、利用者の方の駐車場が不足しています。旅行や、待ち合わせ等による長時間の駐車は、ご遠慮くださいるようお願いいたします。

## 【乳幼児学級/すくすくクラブ】

令和3年度の募集が始まります。

0~3歳までのお子さんがいらっしゃるご家族の活動です。途中からの参加も可能です。お気軽に声掛けください。

※詳細については、改めてご案内します。

## 【コミセンニュース】

コミセン前のキンモクセイの木を、市民講座「庭木の剪定」の受講者の皆さん方が剪定してくださいました。

綺麗な花と香りを楽しませてくれることと思います。今年の秋が楽しみです。



東野小学校の児童の皆さん  
が育てた「シクラメン」の鉢を  
いただきました。ロビーを色  
鮮やかに飾ってくれています。  
ありがとうございます!!

## 発 行

東野地域自治区運営協議会 五二六一二五四四

新年明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナや集中豪雨等の大きな災害に見舞われた年でした。今年こそ明るい希望が見える年であってほしいと願っています。▼今年の干支（えと）は丑（うし）です。どうして干支の丑は一般的な“牛”を用いないのでしょうか？▼調べてみると、もともとあつた12の漢字に動物が当てはめられようです。動物たちが先に決まっていたのではなく、「十二支の文字があつてそこに動物の意味を後づけ」したのです。▼空を飛ぶ鳥ではなく、酉（とり）のような別の漢字があるのはこのためです。十二支は「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」の文字を使います。十二支は、もともとは特に動物との直接の関係はなかつたということです。▼「干支」と聞くと「子（うし）」と考えがちですが、これは正解ではありません。実は「干支」とは「干（うし）」と「支（ゆき）」の2つを指す言葉で、「子（うし）」は「支（ゆき）」なのです。干支は十干（じっかん）十二支（じゅうにし）で構成されます。今年の干支は辛丑（かのとうし）です。次に同じ干支になるのは60年後です。▼「牛」は古くから食牛や乳牛、耕牛として酪農や農業で人々を助けてくれる重要な生き物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢（耐える）」や「発展の前振れ」を表す年になると言われています。今回の丑年は、いつたいどんな年になるでしょうか？コロナ禍で、耐え忍ぶ年になるかもしれません。発展の前触れの年と信じ、今の状況を耐え地道に歩むことが新たな発展へ繋がる年になるでしょう。

編集後記